

つながるん♪ ～共通点でつながるチャットアプリケーションの作成と実装～

代表者	Y230100	永田彩恵
メンバー	Y230062	藤田愛菜
	Y230064	佐々木広美
	Y230066	三宅泉実
アドバイザー教員	樋口三郎	

## 目的

大学生活において、「もっと交流を広げたい」「他学部の人と知り合いたい」という学生のニーズに応えるため、共通点をきっかけにつながることのできるチャットアプリケーション「つながるん♪」を企画・開発した。特に、龍大生限定かつ匿名で利用できる仕様にするすることで、SNS等での顔出しに抵抗がある学生でも安心して利用でき、手軽に友達作りのきっかけが得られるツールを目指した。

## 計画

限られた期間内で完成度の高いアプリケーションを開発するため、メンバー間で定期的にミーティングを行った。開発方針としては、ゼロからプログラミングコードを書くのではなく、ノーコードツールを活用することで開発にかかる時間を短縮し、その分をUI（ユーザーインターフェース）の改善や機能の作り込みに時間をかけた。

具体的には、活動を大きく4つの段階に分けて進めた。まず、どのような機能が必要かを全員で話し合い、「どんなアプリなら使いたくなるか」というアイデア出しから始めた。次に画面のデザインや構成を考えた。そのデザインを元にbubbleを使って実際にアプリを組み立て、最後にきちんと動作するかを自分たちで確認した。これらの作業は、メンバーそれぞれの得意分野に合わせて手分けして行った。

## 調査方法

アプリケーションの実装にあたり、プログラミングの専門知識がなくてもWebサービスが構築できる「ノーコード（No-Code）」技術について調査を行った。複数のツールを比較・検討した結果、GUI（グラフィカルユーザーインターフェース）上のドラッグ&ドロップ操作で直感的に開発ができ、かつデータベース機能やデザインの自由度が高い「bubble」を選定した。

また、学生が直感的に使えるデザインにするため、既存の人気SNSアプリの画面構成を調査・参考にしつつ、bubble上での具体的な実装方法やデータベースの設計方法について学習を進めた。

## 役割分担

藤田愛菜 会計、アプリデザイン、検索画面作成、データベース設計、チャット機能の作成、プロフィール作成、ポスター制作  
佐々木広美 スタート画面の作成、ログイン画面の作成、チャット機能の実装  
三宅泉実 チャット機能の作成  
永田彩恵 リーダー、取材対応、ホーム画面、ポスター制作、ユーザー募集

## 活動経過

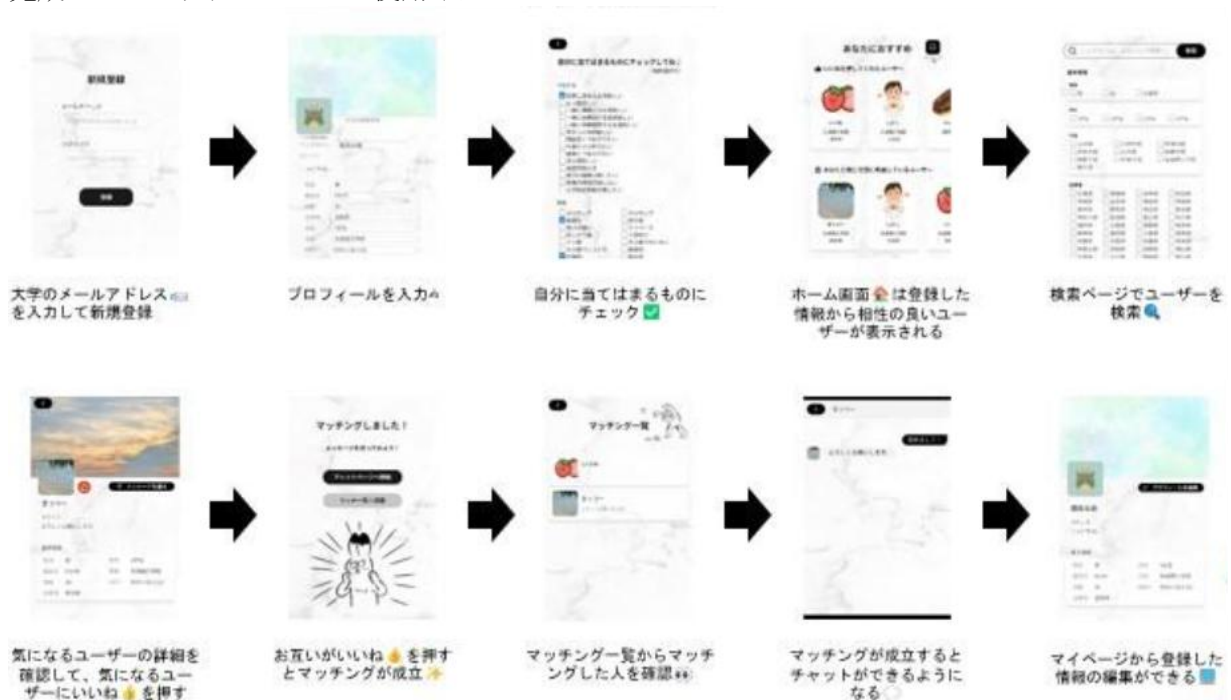
まず、アプリの基本コンセプトとして「QRコードを読み込むだけでよく、インストール不要」また、マッチングアプリの悪いイメージを払拭するため「大学メールアドレスによる認証」という仕様を決定した。

bubbleを用いた実装段階では、以下の主要機能を構築した。

- ・新規登録・認証機能：大学のメールアドレス入力を必須とし、学生限定の安全性を担保した。
- ・プロフィール・マッチング機能：自分に当てはまる項目（趣味や属性）をチェックすることで、相性の良いユーザーがホーム画面に表示されるアルゴリズムを実装した。
- ・コミュニケーション機能：気になるユーザーへの「いいね」機能、相互マッチング後のチャット機能を実装し、円滑な交流を可能にした。

## 成果・結果

完成したアプリケーション 使用イメージ



完成したアプリケーションを実際に学生に使用してもらい、フィードバックを得た。利用者からは「他学部の人と知り合うことができよかった」「マッチング画面のデザインが可愛い」といった肯定的な意見が多く寄せられた。また、「チャット機能の実装レベルが高い」「龍大生限定でかつ匿名なので安心感がある」という機能面・安全面での評価も得ることができた。

これにより、ノーコードツールを用いた開発であっても、実用的かつユーザー満足度の高いアプリケーションが構築可能であることを実証した。

見直すべき点としては、大学のメールアドレスでログインをできるようにはしたが龍谷大学生のみとはなっていない部分から龍谷大学生のみが必ず登録できるような制限をすること。また、卒業生にも範囲を広げても面白いのではないかという意見もいただいた。

今後このようなアプリケーションを実際に使いたいという声もあり、このようなサービスを求めている人が多数いた。

## 今後の展望

今回の活動を通じて得られた知見をもとに、今後は以下の機能強化を目指す。

- ・利用範囲の制限：現時点では必ずしも龍谷大学生のみという条件ではないので、メールで一度確認することや、龍谷大学から提供されたもので間違いがないかの確認をできるようなものを大学側に協力を仰ぐなどで対策し、さらに安全性を高める。
- ・通知機能の追加：メッセージ受信等のリアルタイムに通知することにより、利用者への満足度や使いやすさを向上させる。
- ・チャット機能の向上：最新のメッセージに飛ぶようにすることなど使用者がチャットを使いやすかつ使いたいと思えるような機能を追加する。
- ・マッチング精度の向上：より安全性が高く、気の合う相手と出会えるようなロジックへの改善。
- ・持続可能性の確保：SNS連携による拡散や、広告の活用による収益化モデルを検討し、継続的に運営できるアプリを目指す。

## 参考文献

- ・Bubble  
<https://bubble.io/>